

日本の南には高気圧があって本州付近をおおっています。

今夜は、日本の南の高気圧におおわれる見込みです。

このため、関東甲信地方は概ね晴れで、曇るところがあるでしょう。

明日は、低気圧や前線が日本海に進みますが、東日本は父島付近に中心を持つ高気圧に引き続きおおわれる見込みです。

このため、関東地方は晴れで昼過ぎから時々曇り、甲信地方では晴れで夕方から曇りでしょう。

なお、関東甲信地方の明後日（21日）は、海上を中心に強風、高波の荒れた天気となるおそれがあります。陸上の積雪の多い地域でもなだれや融雪による災害のおそれがありますので、今後の気象情報等に留意して下さい。

関東近海は、今夜から明日にかけて、波の高い所があるでしょう。船舶は注意して下さい。

【 土日のお天気 】

	20日 (Sat)		21日 (Sun)	
	天気	最高/最低	天気	最高/最低
札幌	◎//*	7/ 0	◎//●	9/ 0
秋田	◎/●	11/ 4	◎→*	11/ 2
仙台	○//◎	14/ 2	◎/●	13/ 2
宇都宮	○//◎	18/ 5	◎/●	19/ 3
東京	○//◎	19/ 8	◎/●	20/ 6
横浜	○//◎	19/ 9	◎/●	20/ 7
長野	○	21/ 2	◎//●	14/ 1
静岡	○→◎	18/ 8	●→◎	19/ 7
名古屋	○→◎	19/ 5	●→◎	16/ 6
新潟	◎//○	16/ 5	●	15/ 4
金沢	○	22/ 6	●	19/ 5
大阪	○→◎	21/ 8	◎/●	16/ 7
神戸	○→◎	20/ 10	◎/●	16/ 7
広島	○→●	18/ 7	○/●	16/ 5
松江	○→●	22/ 6	◎/●	14/ 6
高松	○→●	21/ 5	○/●	16/ 7
高知	◎→●	19/ 8	○/●	19/ 7
福岡	○→●	22/ 12	◎→○	14/ 8
鹿児島	○→●	22/ 13	○	16/ 8
那覇	○→●	25/ 20	●→◎	21/ 17

(○:晴れ, ◎:くもり, ●:雨, *:雪→:のち, //:時々, /:一時)

【 お天気モード 】

「 **牛ふんでバイオガス生産販売(興部町)** 」 2010年3月13日の日記より編集

北海道興部町は2010年度から、牛のふん尿を原料にバイオガスを生産して、地元企業に販売する計画を本格化する。

【 概要 】

1. 家畜ふん尿を原料にしたガスの販売は「全国で初めて(同町産業振興課)」
2. ふん尿はプラントのガス生産の過程で、**においの少ない液肥**に処理し、酪農家に販売する。
3. 資源の有効活用と同時に、臭気対策などに悩む酪農家にも貢献する仕組みにする。
4. プラント建設費用は10億4000万円。ガスの年間販売額は2700万円。

【 背景 】

1. 酪農地帯である同町の市街地周辺には約1500頭の成牛がおり、年間200トンのふん尿が発生する。
2. 市街地にガスプラントを設置し、周辺の酪農家からふん尿を収集、バイオガスを精製し、パイプラインで雪印乳業の工場のほか、公営施設などに送る。
3. 生産規模は年間75万立法メートルで、同工場が利用する重油の4割を賄える。
4. 現在は、ふん尿を発酵させてから草地に散布しているが、臭いがきつく、住民や観光客からの苦情の種になっている。
5. ふん尿は、加温して雑草の種子を死滅させるなどの処理が必要だが、「発生量が多くて処理が間に合わず、未熟のまま散布せざるを得ない」(**JAおこっぺ**)。
6. ふん尿をガス生産過程で、**においの少ない液肥(発酵消化液)**に処理することで、これらの課題も解決したい。

【 今後の計画 】

1. 農水省の「**地域バイオマス利活用交付金**」を活用し、10年度にJAや漁協、学識者などで本格的構想を策定する。
2. 11年度中に、ガス生産体制を整えたい。
3. ガス生産販売の主体は検討中だが、産業ガス大手が前向きな意向を示している。

(農業新聞3月13日 より編集)

【 感想 】

九州のふるさとの高校生の頃、後輩の農家に時々遊びにっていました。多くは、梅雨明けの水遊び(大きなため池での水泳)の後、乾いた喉をひんやりとした山水を柄杓で掬って潤すことでした。今思えば、ミネラルたっぷりの天然の小川を流れる水は至福の一杯。鬱蒼とした木々からせみの声がすさまじい農家の納屋で、数頭の真っ黒で毛並みのつややした牛が飼われていました。

牛小屋にしては、きちんと手入れの行き届いたものでしたが、独特のにおいにむせかえる記憶は忘れられません。尻尾を振る牛の周りにはハエがぶんぶん飛んでいたものです。

その後、色んな場所で、牛小屋に接しましたが、あの独特なおいさきついででした。通りすがりだから、直ぐにそのことは忘れてしまっていたけれど、酪農家にとってはずーっと、変らない作業現場だと思うと、酪農家の課題の1つが解決される可能性のある本プロジェクトの
もたらす意義は素晴らしい。案外、後継者も出てくるおまけもついてくるかもしれません。

【 e 健康生活 】

「 **体操広場で健康づくりと触れ合い** 」 2010年3月13日の日記より

【 触れ合いで孤立化防ぐ 】

JAにじ(福岡県うきは市)は、高齢者を対象に、健康づくりと仲間との触れ合いで孤立化を防ぐことを目的に「**体操広場**」に力を入れています。

【 体操広場 】

JAの今年度の職場目標「地域NO1 組合員の琴線に触れるサービス」の一環

1. 参加するたびに、たまったポイントで記念品がもらえる仕組み。
2. 昨年8月からの参加者は200人を超える。
3. 高齢者からは「**ぼけ防止になる**」と好評。
4. 女性部「助けあい組織」が主体になり、脳を活性化させるレインボー体操で体をほぐし、その後は、参加者でお茶を飲み、語り合っ経過す。

【 工夫していること 】

1. JAの支店で、参加しやすいように、年金受給日に開き、3日間連続で行う。
2. 参加のたびに、ポイントが付き、満点の10ポイント毎に、記念品がもらえる。
3. 「**みんなでわいわい話すのが一番**。ぼけ防止のためにも続けます」(「生野さん、87歳の女性」の話)
4. 地区ごとに会場を設けて開くことも計画し「**気軽に茶飲み気分に参加を**」(助けあい組織松岡会長)と呼び掛けている。

(農業新聞2月24日 より編集)

【 感想 】

すぐに連想したのは、「ラジオ体操」です。ラジオ体操は国民の体力の増強と健康づくりを目的に始まり、私が子供のころは、夏休みのイベントの1つでした。

今も、近所の公園ではこの慣習の名残がありますが、小々形や運営方法が変化しているようです。昔は、毎朝の日課の1つでしたが、近所のそれは、夏休みの終わり頃の短い期間限定になっています。そして、やはり出席帳又はハンコを押す欄があり、ポイントを満たせば、何とマックも何とかもらえるというものでした。健康体操で、ジャンクフードが特典というのは、妙な取り合わせだと腑に落ちない。むしろ、昔のようにノートが消しゴムの方が教育効果はあるのではと思ったものです。

さて、このラジオ体操。これまた、近所の公園では、お年寄りたちのひそかな楽しみになっています。誰が音頭をとっているのか分かりませんが、程よいボリュームでラジカセのラジオ体操の唄(?)に合わせて、三々五々体を動かしています。とても良い光景です。

さらに、ちょっと離れた別の大きな公園の一角では、太極拳のグループも頑張っています。こちらのリーダーはどうやら、中国人のようで、中国語の音声や掛声のような音に合わせてポーズをとっています。こちらも、どちらかというとお年寄りの方がほとんど。

さて、働き盛りの人たちは、この時間をどう過ごしているのだろうか？

昨今、メタボ基準の見直し記事が目につきます。

痩せているから、メタボではないということではないらしいですね。

【 WISからのお知らせ 】

***** 天気で元気！ *****

世界初 「ソリューションする気象会社」

防災メールなら **地震番**

<http://www.wis-x.co.jp/jishinban/jishinban.html>

トータル節水システム (**経費節減効果NO1**)

http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru_shouhin.htm#echoj

たのしい競馬に 「馬場コンディション情報」

<http://babacondition.sblo.jp/>

減災とセキュリティ 「ミスター防災」

<http://mrbosai.sblo.jp/>

取れたて安全・安心農産物 「直売所NOW」

<http://chokubaisho.sblo.jp/>

天気と健康のお話 「ウェザー&ビューティ」

<http://weatherandbeauty.sblo.jp/>
